

先導的研究者体験プログラム

http://www.are.tsukuba.ac.jp/

研究してみたいけど・・・。

- 費用が足りない
- 研究設備がない
- テーマが定まらない
- 何から始めたらいいかわからない

研究交流室で説明を聞こう!



- ●研究費の支援
- 研究テーマの決定
- 申請書作成のサポート



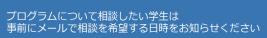
【事務局】

筑波大学 研究交流室

(第三エリア 3B棟2階 3B205室)

〒305-8573 茨城県つくば市天王台1-1-1 TEL/FAX 029-853-8284 E-MAIL ARE-2020@un.tsukuba.ac.jp









Advancing Researcher Experience

全学群1~3年生の

が表します



先導的研究者体験プログラム(ARE)で 研究者の生活をリアルに体験! もちろん、研究テーマは自由です!

Kdb「研究者体験2025」で 検索



研究者に必要な3つの能力を鍛える

探究力

科学研究費補助金(科研費)と同じように、研究のレベルに応じて研究費の額に区分を設け、研究活動を行いたい全学群の1~3 年生 (編入生も可)に、研究計画書の申請をしてもらいます。学生は、審査を受けて採択されれば、早期から研究活動ができる体制になっています。このプログラムでは、研究者生活を実体験させるだけでなく、自分自身で見つけた研究課題に試行錯誤しながら取り組み、物事を探求する力を修得してもらいます。それに加えて、研究業績・研究成果に応じて、レベルの高い申請ができますので、自分自身のレベルアップにもつなげられます。

表現力

参加者全員が研究成果の報告を行う研究発表会を開催します。この研究発表会では、自ら発見したことや創造したことを人に伝えることの喜びと難しさを体感することで表現力を身につけてもらいます。全ての発表者が互いの研究内容を知ることができるよう、ポスターセッションの機会を設けています。研究発表会は学内外に公開し、どなたでも参加できます。毎回、学内外の先生方に学生の研究発表を評価して頂いています。

コミュニケーションカ

参加学生がより確固とした目標を持ち、研究者生活をより明確にイメージしてもらうために、研究者、起業家や実務家、大学院生などを招いて、研究体験談や研究の話を聞き、講演者と交流するセミナー(交流セミナー)を実施します。このセミナーで異分野の参加学生や教員と交流することで、分野外の人たちに自分の興味・関心を伝えることのできるコミュニケーション力を磨きます。

筑波大学は新たな学問分野を開拓する 先導的研究者を育成します

「先導的研究者体験プログラム」(ARE)は、全学群・学類の1年生から3年生を対象に、理系、文系 を問わず、学生諸君の自発的な研究活動を支援するプログラムです。このプログラムは、学生の研 究意欲や研究能力を伸ばすと同時に、自発的に学ぶ力をつけ、創造的で先導的役割を果たす研究者 を育成することを目的としています。

筑波大学は、1973年の開学以来、多様な分野を見渡す力と専門的知識に基づく学際的研究・教育 を先導する人材の育成を行って来ました。2019年4月からは、さらにこの理念を押し進め、新たな総 合智教育を実施しています。そこでは、総合科目、体育、外国語、情報、国語、芸術といった一般 的な知の探求に加えて、「専門導入科目」として、自分の専門としたい分野に関する知識や技能の ほか、様々な専門分野の基礎を学びます。つまり、学問分野を広く俯瞰しながら、自分が 学ぼうとする専門分野の特徴を理解し、あわせて多様な学問分野を横断して考える基礎を学ぶもの です。AIなどデジタルサイエンスの革新が社会に大きな変化を生んでいる過渡期において、新しい 学問分野を創成し、これまでにない発見をしていただぎたいと考えます。



筑波大学教育担当副学長 加藤 光保

最近は、高校において課題研究などが盛んに行なわれ、優れた研究成果をあげていますが、課題 研究などの経験が高校までになかった人でも、「筑波大学では自分で何らかの課題を決めて調べて

みよう」と考えている人が少なくありません。また、1年次の授業において、もっと自分が学びたいこと、研究したいことに直接 結びつく知識を得たいと思う人もいるに違いありません。このAREは、自分の興味のある研究課題について、財政的支援を受けな がら、すぐにスタートすることができるプログラムです。

あなた自身の関心のあるテーマについて「研究計画書」を作成し、AREに提出してください。あなたの課題が採択されれば、す ぐに自分の研究課題に取り組むことができ、研究者の卵として、研究人生をスタートさせることができます。そして、自分の研究 結果についてプレゼンテーションを行うときには、すでに新人研究者として研究キャリアをスタートさせているのです。

研究課題について、あまり難しく考える必要はありません。「世紀の大発見」といわれるこれまでの研究も、初めはちょっとし た思いつきやきっかけから始まることも少なくありませんでした。皆さんの研究課題が、将来、大きな研究成果へ繋がる可能性も 十分あります。その一方で、研究者としての道のりは、決して平坦ではなく、克服しなくてはならない問題に突ぎ当たることも幾 度となくあるでしょう。一見、まったく関係のないと思われる分野の人と接して、さまざまな意見やアドバイスを受けることによ り、研究上の問題解決のヒントを得られる場合も少なくありません。

筑波大学は、他の大学に比べて学群間の壁が低く、異なる分野の授業を受講し、幅広い知識を獲得することが可能な教育システ ムを採用しています。本学のこのような利点を、皆さんの研究に大いに役立ててほしいと思います。AREでも、「研究者体験」の 授業で、異分野の学生との合同研究発表会や「交流セミナー」を開催して、皆さんの研究上の視野が、さらに広がるよう応援して います。また、AREは学群での基礎的な課題研究を、将来、大学院での本格的な研究活動に発展させることも奨励しています。理 系、文系を問わず、研究に関心をもつ多くの学生の参加を期待しています。



審査

(審査期間は3週間程度)

先導的研究者体験プログラム(ARE)で研究者生活をリアルに体験!!

先導的研究者体験プログラムの流れ

アドバイザ教員を探す

テーマを考える・探す

全学群 ~3年生対象

発計画が採択! 不採択の時は 第2回募集で再チャニ

レンジ

「研究者体験2025」の

2025」の正式履修WINSに履修登録)

T W

- 研究の厳しさ、発見や創造の喜びを体感し、学習意欲や課題探究力を磨こう -

4月9日(水)~

30

日(水)

U-Radで研究計画書を提出 コースに登録 コースに登録

5月

28日(水)~

6月

11

日(水)

第2回

5

令和7年度は「研究者体験2025」(通年集中)を開設します。

フロクラムに応募するには、ます字省管理システムmanabaで「研究者体験2025」コースに登録してくたさい。																		
7月2日(水) 第2回認定書授与式研究交流セミナー[情報交換会]	→	8月9日(火) 第1回中間報告会	→	8月18日(月)~21日(木) ステップアップ申請	→	9月4日(水) 第2回中間報告会	→	11月26日(水)第3回中間報告会	-	11月27日(木) 研究交流セミナー	→	1月19日(月)研究発表会	-	1月2日(月) 研究経費報告書提出	→	2月2日(月) 研究実績報告書の提出	→	次年度の募集に応募

H21~R6までの採択状況

所属別参加学生数

所属	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
総合学域群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	0	0
第1類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	1	0	0
第3類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0	0	0
人文·文化学群	-	-	-	-	3	7	7	3	2	8	13	4	9	3	8	5
人文学類	-	-	-	-	3	4	6	თ	1	8	11	4	8	3	4	3
比較文化学類	-	-	-	-	0	2	1	0	0	0	2	0	1	0	3	2
日本語·日本文化学類	-	-	-	-	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
社会·国際学群	-	-	-	-	0	1	1	0	0	1	2	1	0	0	2	0
社会学類	-	-	-	-	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0
国際総合学類	-	-	-	-	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0
人間学群	-	-	-	-	0	0	1	0	0	0	2	0	1	0	1	0
心理学類	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
障害科学類	-	-	-	-	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0
生命環境学群	9	15	14	21	16	20	21	15	20	16	14	13	15	14	14	12
生物学類	6	11	10	7	8	7	14	8	12	8	6	5	3	5	8	9
生物資源学類	3	4	3	13	4	12	7	6	7	8	4	6	11	6	5	2
地球学類	0	0	1	1	4	1	0	1	1	0	4	2	1	3	1	1
理工学群	10	5	10	19	8	19	6	10	7	19	25	20	15	11	13	10
数学類	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	1	2
物理学類	5	2	2	5	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
化学類	0	1	0	2	1	2	1	0	0	0	1	2	3	1	2	1
応用理工学類	1	0	4	5	3	6	3	5	4	7	4	8	3	5	4	4
工学システム学類	4	2	3	7	1	7	1	2	3	12	19	7	5	2	4	2
社会工学類	0	0	0	0	0	2	0	3	0	0	1	2	1	1	0	0
総合理工学位プログラム	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	1	2	0	2	0
情報学群	5	3	1	3	5	1	14	15	19	19	19	19	15	9	14	11
情報科学類	2	1	0	1	4	1	4	3	1	4	2	1	1	2	5	2
情報メディア創成学類	3	1	1	2	1	0	8	11	14	15	10	14	8	5	6	4
知識情報·図書館学類	0	1	0	0	0	0	2	1	4	0	7	4	6	2	3	5
医学群	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4	3	5
医学類	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	3
看護学類	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
医療科学類	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
芸術専門学群	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
合 計	24	23	25	43	32	48	50	43	48	63	75	58	58	42	55	43